

第92回福島県メーデー 各地区で祭典を開催

コロナ感染防止対策の徹底により、参加人数を限定して各地区で開催されます。各地区からの参加要請に基づいて参加をお願いします。

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:jichou@jichiro-fukushima.or.jp

第823号

2021年(令和3年)

4月15日

福島市荒町1-21

自治労福島県本部

発行人 澤田 清一



2021春闘

公共サービスに もっとと投資を！ 地域アピール行動を実施



郡山駅前で「公共サービスにもっと投資を！」を訴える

県本部は、2021春闘期の全国統一行動として、3月12日郡山市の郡山駅前広場にて「公共サービスにもっと投資を！」地域アピール行動を行った。

最初に志賀中央執行委員長から「公共サービスは、危機的状況にありま

す。このことを市民の皆様

様にアピールさせていた

だきます。自治労は、税

収不足や財政難を理由と

した、一方的な人件費削

減ではなく、処遇改善や

人員確保による、公共

サービスに携わる労働

者、エッセンシャルワ

ーカー)について、重要

性と存在価値を市民にア

ピールした。

次に、本部・会津総支

部・福島市職労が作成し

た「公共サービスにも

っと投資を！」アピール

と投資を！」アピール

画の放映と、ポケット

ティッシュの配布を行

い、「エッセンシャルワ

ーカー)として、公共サ

ビスと公共サービス労働

者(エッセンシャルワー

ーカー)について、重要

性と存在価値を市民にア

ピールした。

原発NO!

10年目の県民大集会開催される

3月21日とうほう・みんなの文化センターで「2021原発のない福島をー県民大集会」が新

型コロナウイルス感染症

の拡大を考慮し、県内参

加者に限定して70名の参

加とYouTubeライ

ブ配信で開催された。

集会は、東日本大震災

で犠牲になられた方々へ

の黙祷ではじまり、角田

実行委員長は、「原発事

故によって引き起こされ

ている現状・現実を受け

止め、多くの人と共有す

ることが重要と考えてい

ます。再び原発事故・過

酷災害を起こさせない

た。



原発NO!を訴える参加者



いわき市職連合：松本副執行委員長



福島市職労：丹野執行委員長



県職連合：澤村中央執行委員長



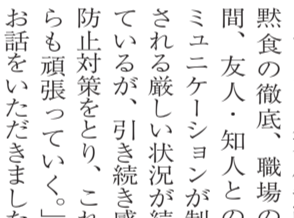
小野病職労：佐藤執行委員長



岩瀬病職労：菱沼執行委員長



南相馬市職労：只木執行委員



相馬市職労：渡邊執行委員

皆様からは、「大変ありがた

い。昼食休憩時は

黙食の徹底、職場の仲

間、友人・知人とのコ

ミュニケーションが制限

される厳しい状況が続

いているが、引き続き感

染防止対策をとり、これ

からも頑張っていく。」と

お話をいただきました。

第26回参議院全国比例区選挙
自治労福島県本部推薦候補予定者

おにき
鬼木
まこと

自治労中央本部書記長を
全力で応援!

onikimakoto.com

鬼木まこと 自治労 推薦

- ### 当面の日程
- 4月22日(木)
福島グリーンパレス
○県本部第9回中央執行委員会
(第1回現業・公企闘争委員会)
 - 県本部共済推進委員会
 - 県本部第4回単組代表者会議
 - 共済推進単組代表者会議
-
- 4月24日(土)
福島グリーンパレス
○県本部公企評第1回幹事会
-
- 4月28日(水)
福島県本部
○県本部公企間評第1回幹事会
-
- 4月28日(水)、29日(木)
○第92回福島県メーデー

福島県市町村職員共済組合 遺族附加年金事業ご加入状況

～2021年2月1日更新時の加入状況と2020年度の支払い状況～

※組合員数は22,271名です。

	遺族附加年金事業	さががけ	給付継続コース	いしずえ
本人加入者数(現職者)	13,853名	12,882名	7,110名	5,108名
加入率(付加率)	62.2%	55.6%(92.9%) (注2)	31.9%(51.3%) (注2)	22.9%
支払状況	14件 23,149万	17件 8,500万	13件 4,300万円	—
配当率(注1)	約32.3%	約44.6%	—	—

(注1) 遺族附加年金事業、さががけは1年毎に収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお返しする仕組みとなっております。
(注2) さががけ、給付継続コースの()内付加率は遺族附加年金事業に対する付加率を記載しています。

遺族附加年金事業・さががけ過去5年間の本人新規加入者数

2017年2月: 892名 (遺族), 1,133名 (さががけ)
2018年2月: 970名 (遺族), 1,133名 (さががけ)
2019年2月: 945名 (遺族), 1,218名 (さががけ)
2020年2月: 810名 (遺族), 1,026名 (さががけ)
2021年2月: 392名 (遺族), 363名 (さががけ)

遺族附加年金事業・さががけ過去5年間の本人加入率推移

2017年2月: 52.6% (遺族), 65.9% (さががけ)
2018年2月: 54.9% (遺族), 66.4% (さががけ)
2019年2月: 58.9% (遺族), 66.7% (さががけ)
2020年2月: 60.2% (遺族), 66.6% (さががけ)
2021年2月: 55.6% (遺族), 62.2% (さががけ)

- 「遺族附加年金事業」の本人新規加入者数は392名となりました。
※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、所属所訪問・対面案内は自粛いたしました。(一部電話での案内は実施)
- 「さががけ」については、「遺族附加年金事業」加入者の92.9%が付加しております。(対前年+0.8pt)

新体制で運動強化と組織拡大を推進

自治労福島県本部新執行体制

中央執行委員長
澤田 精一
(離籍・新・南相馬市職)

組織部長 (全県選出)
飯塚 美由希
(専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (県南総支部)
中村 裕輔
(専従・再・須賀川市職)

中央執行委員 (青年部)
高木 壮大
(非専従・新・本宮市職)

中央執行委員 (公共民間)
伊藤 和男

副中央執行委員長
坂内 孝浩
(離籍・再・会津若松市職)

自治労共済担当中央執行委員
芳賀 正和
(非専従・新・平田村職)

中央執行委員 (県南総支部)
花房 敬子
(非専従・新・大熊町職)

中央執行委員 (女性部)
遠藤 知浩
(非専従・再・田村広域職)

会計監査委員
和知 聡
(非専従・新・県職連合)

会計監査委員
菊地 建雄
(非専従・再・会津美里町職)

副中央執行委員長
鈴木 茂
(非専従・再・福島市職)

中央執行委員 (県職総支部)
鈴木 貴士
(専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 卓
(専従・再・磐梯町職)

中央執行委員 (現業評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
曲山 博貴
(非専従・再・玉川村職)

中央執行委員 (県職総支部)
齊藤 年明
(非専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 久雄
(非専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (衛医評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
鈴木 茂
(非専従・再・福島市職)

中央執行委員 (県職総支部)
鈴木 貴士
(専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 卓
(専従・再・磐梯町職)

中央執行委員 (現業評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
曲山 博貴
(非専従・再・玉川村職)

中央執行委員 (県職総支部)
齊藤 年明
(非専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 久雄
(非専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (衛医評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
曲山 博貴
(非専従・再・玉川村職)

中央執行委員 (県職総支部)
齊藤 年明
(非専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 久雄
(非専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (衛医評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
曲山 博貴
(非専従・再・玉川村職)

中央執行委員 (県職総支部)
齊藤 年明
(非専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 久雄
(非専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (衛医評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

副中央執行委員長
曲山 博貴
(非専従・再・玉川村職)

中央執行委員 (県職総支部)
齊藤 年明
(非専従・新・県職連合)

中央執行委員 (会津総支部)
五十嵐 久雄
(非専従・再・喜多方市職)

中央執行委員 (衛医評)
安藤 淑子
(非専従・新・公立岩瀬病院職)

書記次長
齋藤 浩昭
(離籍・再・福島市職)

中央執行委員 (県北総支部)
遠藤 一也
(非専従・新・二本松市職)

中央執行委員 (浜総支部)
愛場 学
(非専従・新・大熊町職)

中央執行委員 (公企評)
溝井 浩
(非専従・再・石川町職)

渡部 英明 (特別執行委員)
深谷 政憲 (須賀川市職)
高梨 浩 (会津若松市職)
上壁 充 (いわき市職)
渡部 訓正 (南会津町職)
坂内 鉄次 (喜多方市職)
紺野 長人 (県議)

自治体議員連合
引地 力男 (県職連合)

自治労福島第822号に掲載しました2021年度役員選挙結果について記載に誤りがありましたので下記の通り訂正させていただきます。

会計監査委員 岡田浩司 (非専従 南相馬市職) (誤) 信任194票 (正) 信任196票

2月9日に書面開催しました県本部第108回臨時大会において、多くの代議員の皆さんの信任を頂き、4月1日から県本部中央執行委員長に就任しました。就任にあたりご挨拶を申し上げます。

まずは、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が一向に見えない中、保健・医療現場を中心に逼迫した状況が続く、未曾有の危機に直面しています。そのような状況下、感染の危機にさらされながらも住民の命と生活を守るために、懸命に業務に当たっている組合員に最大限の敬意と感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大は、4月5日には宮城県を含む7府県に「まん延防止等重点措置」が実施され、県内でも感染者の拡大に歯止めがかかっていません。菅首相の後手後手で場当たり的な対応による結果であることは明らかです。県本部は引き続き新型コロナウイルス感染症に係る業務、特に住民のワクチン接種にむけた体制整備について、職員の長時間労働、労働強化を招かないよう、体制の強化・人員確保など必要な対応をはかるように、人的・財政的支援を本部及び関係団体に求めるとともに、医療従事者へ対する偏見と差別をなくす取り組みを進めます。

さて、私事ですが、この間4年5ヵ月書記長を経験し全単組を訪問した中で、東日本大震災・原発事故、コロナ禍、更に単組における役員交代・若年層化により、組合運動の継承が出来ない、取り組めない単組の実態を把握し、県本部全体として組合組織が弱体化していると感じました。しかし、具体的にその課題解決の成果を上げることができず責任を痛感しました。県本部運動の最大の課題の一つが「組織の強化・拡大」です。県本部は、組合員・単組の視点に立ち、時代とともに変えるところは変えながらも、労働組合の原点に立ち返り、各単組の自治労共済の推進と併せ、組織の強化・拡大を積極的に取り組まします。

2020年9月に菅政権が発足し半年が経過しました。菅政権は安倍政権を「継承」した民主主義の根幹を無視する強引な政権運営を行い、菅首相本人や家族が関わる幾つもの問題が浮上し、コロナウイルスへの対応など政権に対する国民の不信感が増しています。菅首相が掲げた「国民のために働く内閣」ではないことは明らかです。第49回衆議院選挙は、オリンピック・パラリンピックといった情勢を踏まえると、時期は不透明ですが、自民党政権の暴走に歯止めをかけ、国民の多数派に対応した「中道」「リベラル」勢力の結集・拡大を進め、与野党逆転を実現するとともに、自治労の組織力を示すことが極めて重要であり、絶対に負けることは許されないうたかたきとなります。更に2022年夏に行われる第26回参議院選挙では、地域で働く公共サービス労働者の声を国政に反映し政策に結びつけるため、自治労組織内候補予定者である本部書記長「鬼木まこと」さん(立憲民主党)の支持拡大と各種自治体選挙での推薦候補者の必勝に向け、県本部組織の総力をあげて取り組む決意であります。

2021年は、東日本大震災・原発事故から10年目の節目の年となります。しかし、浜通りの被災自治体単組を中心に、未だ復旧・復興の途中であり、災害は継続し、大変厳しい状況が続いています。今も続く全国からの多くの支援に感謝しつつ、組合員・単組・総支部・県本部が団結し、地域の仲間と協力し合い、ともに手を携え、ふるさと「福島」の復興・創生、脱原発の取り組みの強化を図っていかねばなりません。新型コロナウイルス感染症対策を始め、以下8点を重点課題に掲げ、課題解決をめざします。①組織強化・拡大の取り組み②資金・労働条件の改善③会計年度任用職員等の処遇改善④大震災・原発事故等の被害からの復興・創生⑤自治労共済推進の取り組み⑥政策実現にむけた政治活動の推進⑦自治体財政の確立⑧環境・平和・人権を確立する取り組み、更に、各単組が抱えている課題については、県本部の指導力を発揮するとともに、助言・情報提供を丁寧に行い、単組・総支部・県本部が一体となり、前進・解決をめざします。

取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、組合の必要性・重要性は増しています。私たち公共サービスを担うすべての労働者の力を自治労福島県本部の旗の下に結集し、組合員の生活と権利の向上に向け共に頑張りましょう。その運動の先頭に立ち、取り組み決意を申し上げます、就任の挨拶といたします。

中央執行委員長 澤田 精一

組合員・単組のために全力で取り組む